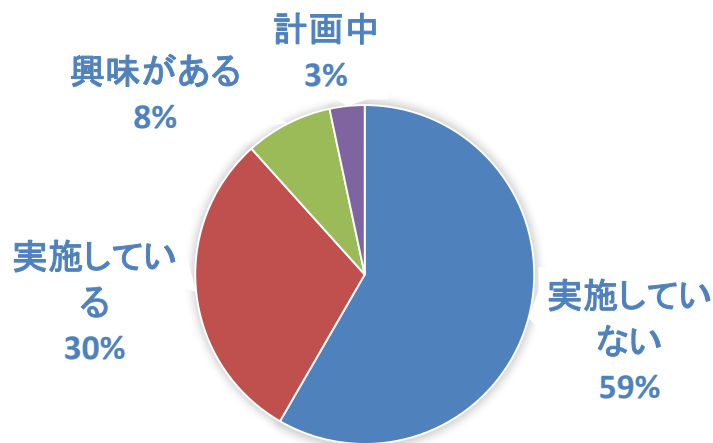


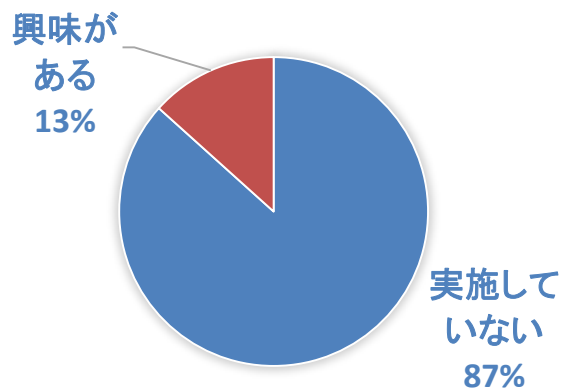
1. アンケート結果と考察

(1) 事務局のクラウド化



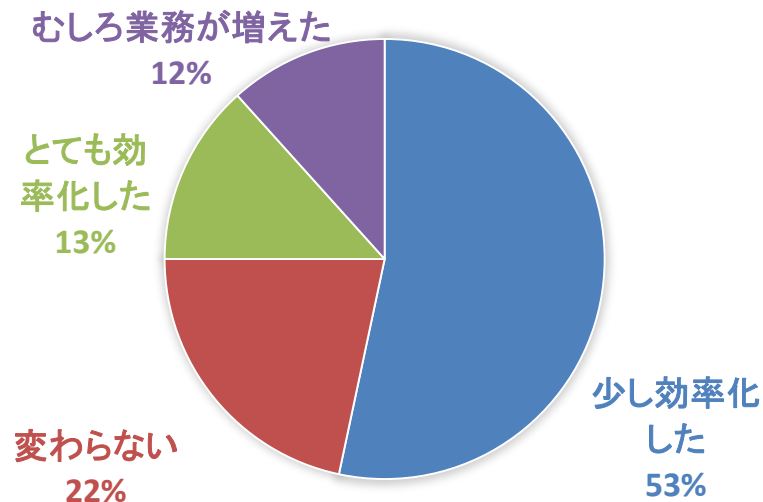
事務局のクラウド化が3割となりました。「興味がある」や「計画中」も1割あり、徐々に進んできています。

(2) RPAやAIの利用について



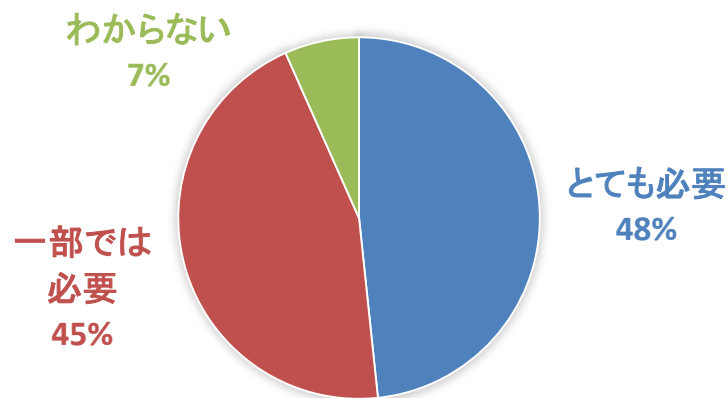
RPA(自動化ツール)やAIの利用に関しては、実施はほぼありませんが、興味があるが13%となりました。今後、導入も進むと思われます。東京都医師会事務局では、RPAを実験的に導入しています。

(3) 事務局の効率化



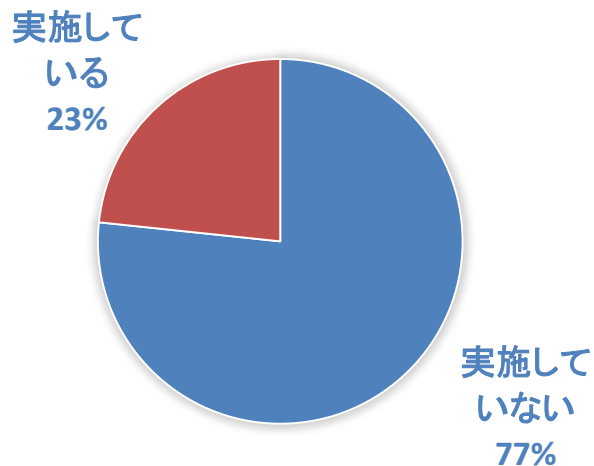
ITにより効率化を感じている事務局は、66%となりました。ITの導入だけでは、効率化とならないケースもあります。業務内容を分析して、ツールとしてのITの生かし方を検討する必要があります。

(4) IT化の必要性



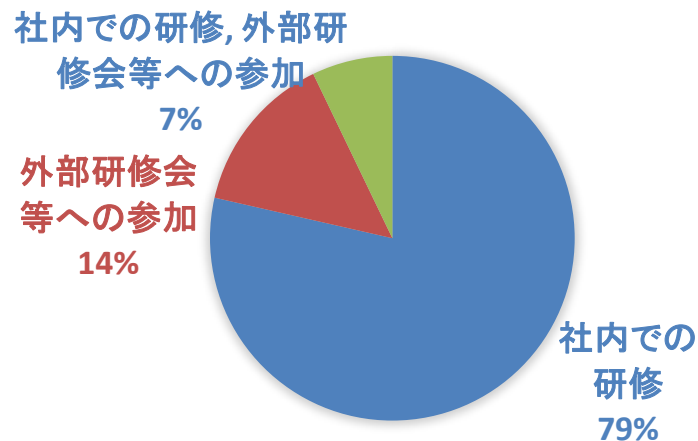
必要性は、事務局の93%が感じています。各企業がITにより生産性を向上させている事例も数多く存在します。医師会事務局の業務についても、生産性を向上させることはできると考えます。

(5) IT教育の実施



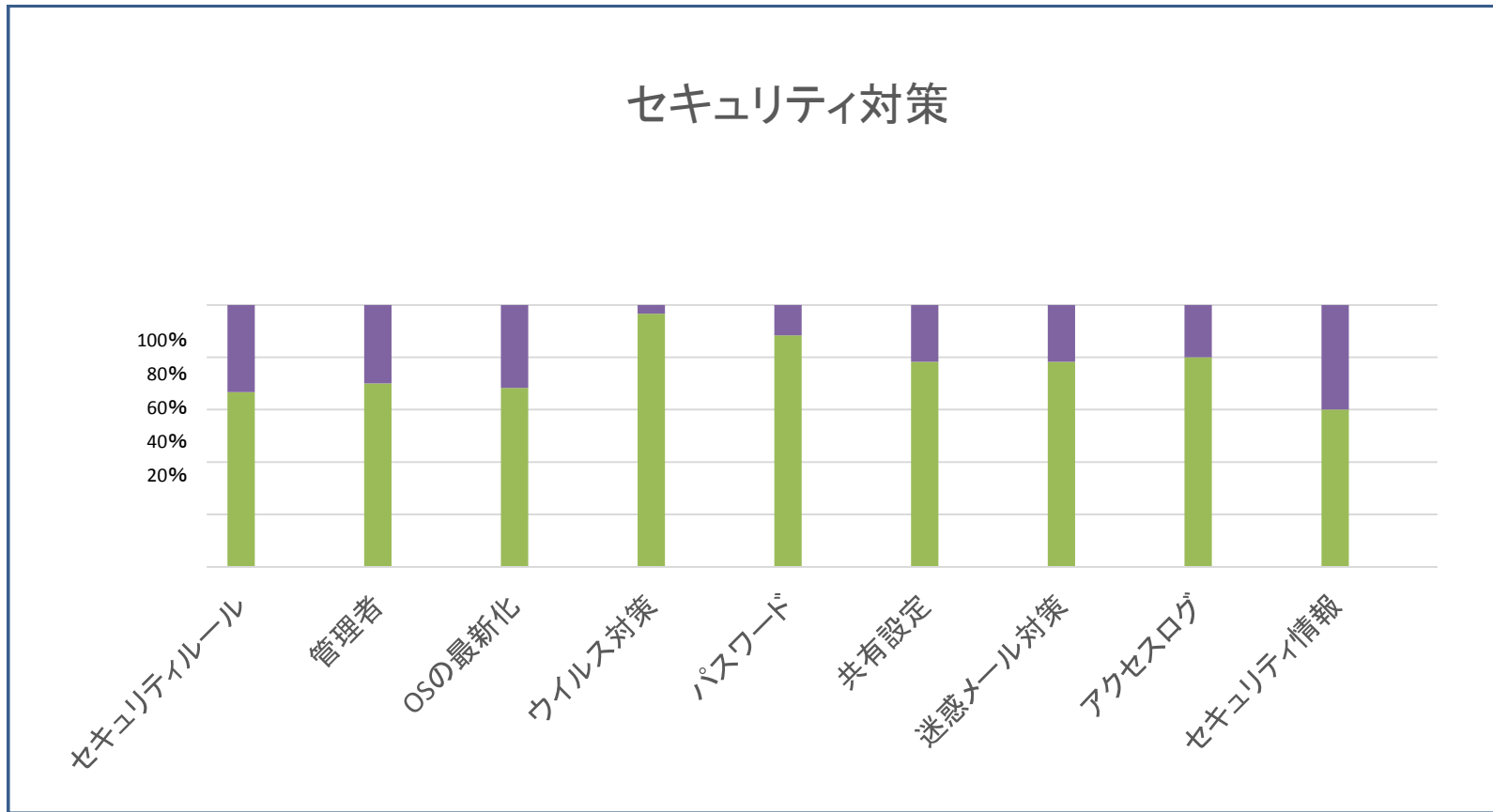
IT教育は、23%の事務局が実施しています。まだまだ、少ないです。セキュリティの教育だけでなく、業務を効率化するための教育も必要と考えます。東京都医師会での研修会を検討します。

(6) IT教育の手段



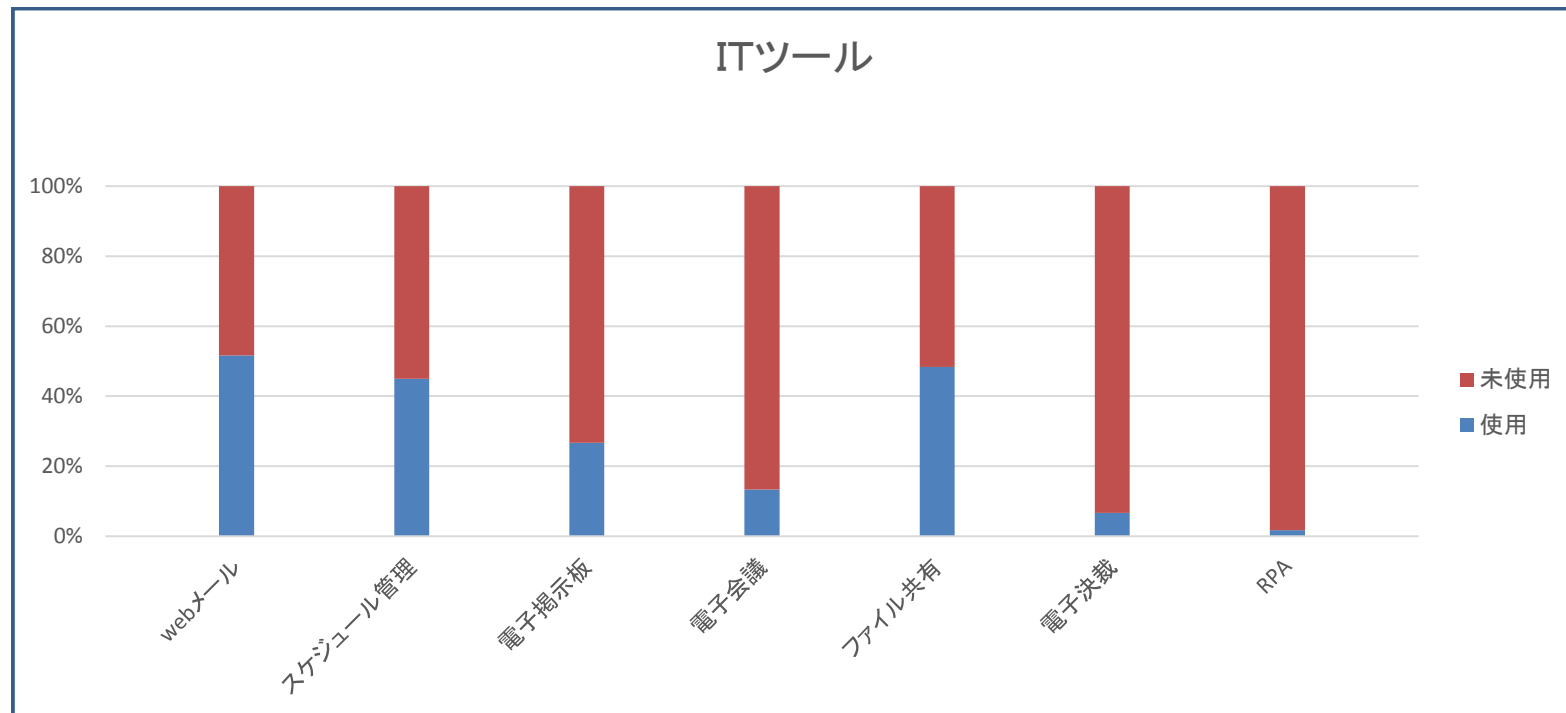
IT教育の手段は、社内研修が中心となっています。外部研修の活用も必要と考えます。医師会事務局間でのノウハウの共有なども検討しましょう。

(7) セキュリティ対策



セキュリティに対する意識が高く、大半の事務局で対策が打たれています。

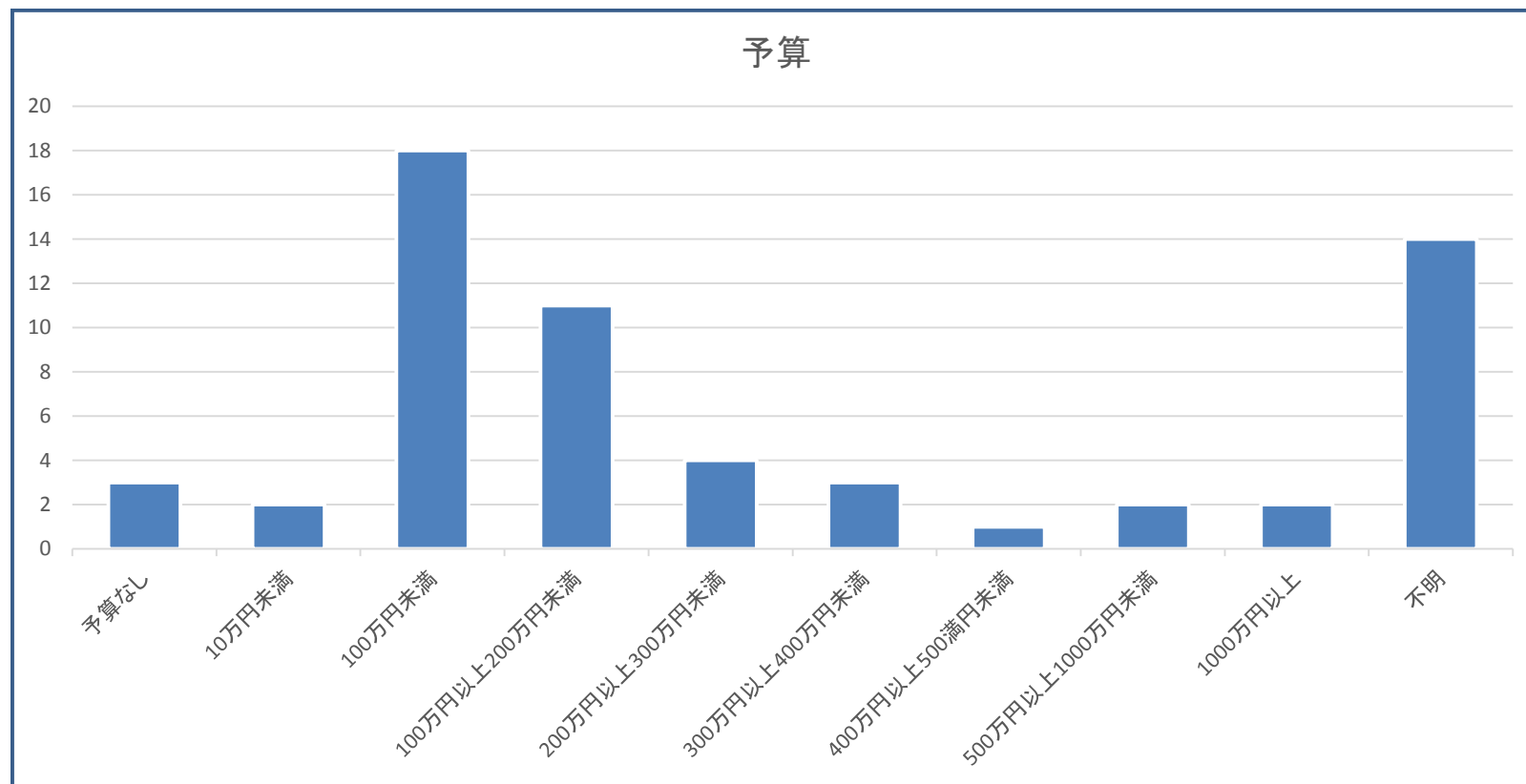
(8)ITツール利用状況



ITツールとして、WEBメール、スケジュール管理、電子掲示板、ファイル共有が半数程度使われています。

電子会議や、電子決裁、RPAなどが、まだまだといったところです。これらの活用も検討課題です。事例を参考にしましょう。

(9)IT化予算



IT化予算は、年々増加しています。
半数の事務局で年間300万円以内となっています。
必ずしも増額することありきではありませんが、人件費削減に対応したITコスト増額なども検討が必要です。

2. IT化の進め方について

IT化としての検討の優先順位を考えてみました。以下を参考にしてください。

- ① インターネット環境のセキュリティ対策
 - ・ウイルス対策(インターネット入口・出口対策)
 - ・メール対策(SPAMメール等の除外)
 - ・OS最新化(パソコンの更新の最新化)、サポート切れによるPC入れ替え

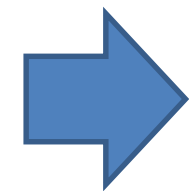
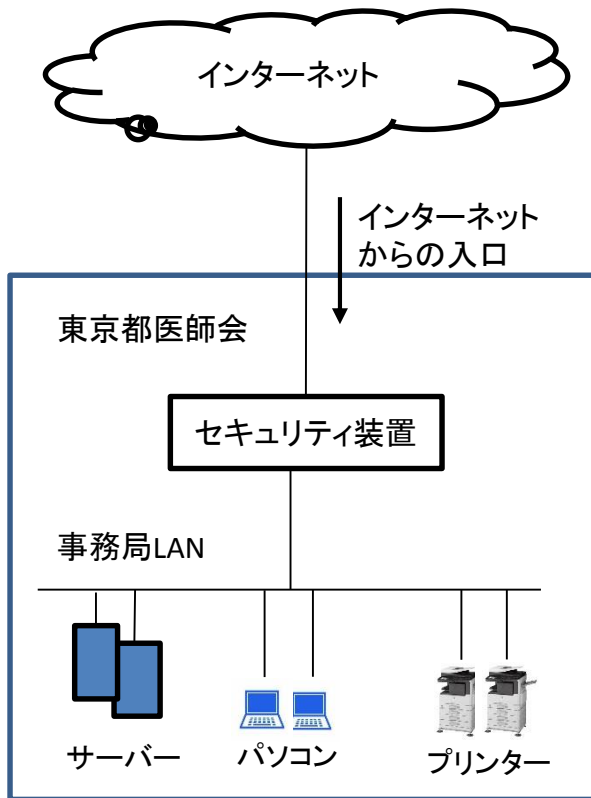
- ② 事務局内データ共有のセキュリティ対策
 - ・データ共有化と権限設定(職員の職制に応じたアクセス権設定)
 - ・パスワード(ファイルのアクセスパスワードの設定)

- ③ 事務局内業務の効率化
 - ・電子掲示板(規程・マニュアルの電子化、フォーラム・回覧板の利用)
 - ・スケジュール管理(会議室管理、役員・職員スケジュール管理)
 - ・ワークフロー(電子決裁)

- ④ サーバーレス環境
 - ・クラウド化

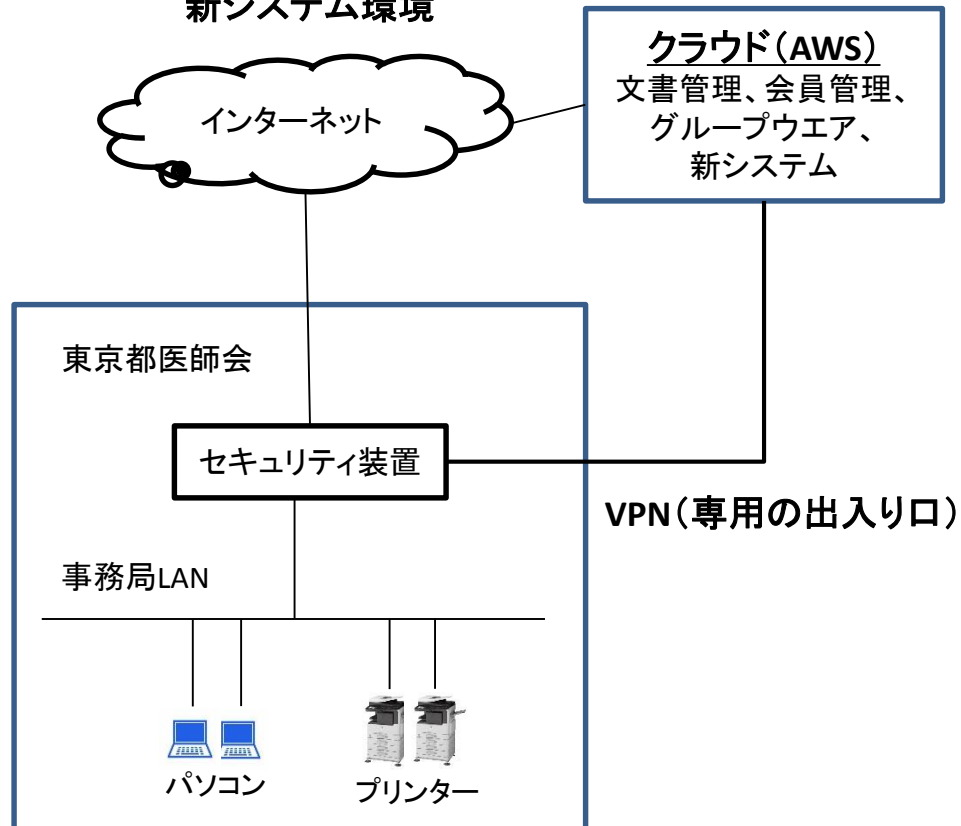
3. クラウド化事例(東京都医師会)

これまでの環境



クラウド化

新システム環境



クラウド化のメリット

- ①サーバーの共通化やデータ容量の柔軟な拡張によるコスト削減
- ②停電時、障害時、災害時におけるシステム停止リスクの極小化
- ③システムの二重化による稼働率向上と迅速な復旧
- ④データセンタの入退出管理徹底による人的アクセスのセキュリティ強化

4. 研修申込システム

これまで手作業で行っていた研修会の管理をシステム化しました。

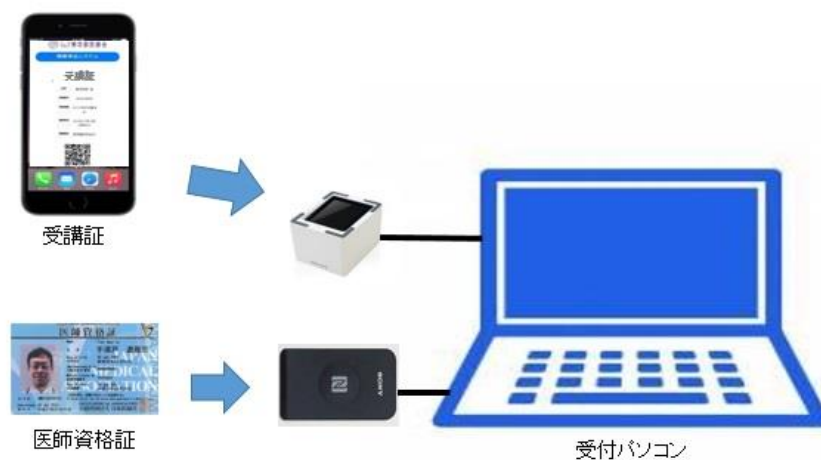
(1) システム化の目的

- ・本会主催研修会のインターネット申込による事務業務の簡略化・効率化
- ・地区医師会取りまとめ業務の効率化
- ・QRコードや医師資格証を利用したスピーディーな当日の受付業務
- ・全国医師会研修管理システムへのスムーズなデータ送信
- ・決済サイトと連携したクレジット、コンビニ払いへの対応

(2) システム化による効果

研修会の参加状況がデータ化され、集計や分析が容易に行えるようになりました。有料研修での経理処理が大きく省力化しました。

地区医師会の反響も大きく、地区医師会主催の研修会において、システムを共同利用したい旨の提案もあり、現在検討中です。



5. 今後の課題

事務局業務をさらに効率化するため、継続的に以下の取り組みを行います。

(1) ノウハウの共有化

他事務局事例を参考に構築したり、改良を加えることを検討します。

- ① 電子決裁システム
- ② スケジュール管理
- ③ 電子掲示板

(2) 共同利用の検討

クラウド上のシステムを医師会でシェアしましょう。
東京都医師会として以下のシステムの共同利用を検討します。

- ① 文書管理システム
- ② 会員管理システム
- ③ 研修申込システム
- ④ 経理システム